

事業報告

令和4年度 第4回 大分県立図書館文化講演会兼大分県公立図書館等職員研修会

日時：令和4年11月5日（土） 14:00～15:40

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 参加者：80名 うち研修会参加者19名

<研修趣旨>

生涯学習のキーステーションとして、県民に、本や読書についての学習機会を提供するとともに、県民の読書推進の気運の醸成を図ることを目指す。また、公立図書館等の職員に対しては、郷土について理解を深める研修機会を提供することにより、図書館サービスの向上を図る。

<研修内容>

【講演会】 「久留島武彦に学ぶ 親子で楽しむ図書館づくり」
久留島武彦記念館 館長 金成妍氏

○大分県紹介

福沢諭吉等

○童話の里 くす

○自己紹介

韓国について

研究のいきさつ

○くす町は、なぜ童話の里ですか？

久留島武彦について

生い立ち 功績

童話・絵本について

□演童話家としての活動

○まとめ



<参加者感想>

- ◇久留島童話をたくさん子どもたちに読んであげようと思った。
- ◇数々の心に残る言葉があったが、「困った時は、図書館に」が一番心に残った。
- ◇大分県に住んでいながら、自分の郷土の偉人に関する知識のなさを痛感し、とても勉強になった。
- ◇久留島先生や児童文学について自分でも勉強しようと思った。
- ◇玖珠のことを魅力に思った。
- ◇記念館に行ってもっと知りたくなった。
- ◇あっという間の楽しい講演会だった。
- ◇生きぬく力、継続することの大切さを学んだ。
- ◇是非書籍を読んでみたいと思った。